

寄稿

飯南町への想い

八神 鹿田 明浩

「飯南町へ住んで」



八神デイサービスセンター

私は昭和五十年に八神で生まれ、高校卒業まで両親のもとで過ごし、広島県にある福祉の専門学校に進みました。平成八年、大田市の福祉施設に入社し、その頃同じ職場だった妻と結婚、大田市で新居を構え、三人の子供にも恵まれました。



鹿田明浩・美香
実永(5歳)・千陽(3歳)・麻衣(1歳)

人生の転機が訪れたのは今から四年前、当時の福祉に疑問を感じていた私は独立を決心。自分が考える福祉を地元で形にしたいと考え、平成十五年に帰省、翌年「八神デイサービスセンター」を開設、本年四月には「ブナの木」を開設しました。共に暮らす家族や、私の考えに賛同してくださる皆さんの協力もあり、順調に二つの施設を営んでいます。

現在の家族構成は、私の妻、長男、次男、長女、祖母、両親の八人家族で、最近頼原に帰省してきた私の弟夫婦にも長男が誕生しました。最近では休日や夕食に家族全員が集

まることが多く、子供たちの笑い声や泣き声が家の中に響いています。これからの人生の中で様々な問題はあると思いますが、どんな時も家族と苦楽を共にし、この地で暮らしていきたいと思っています。生まれ育つた家で新しい家族と共に暮らし、昔ながらの環境の中で子供の成長を見届ける、そんな当たり前の事が出来なくなっている社会の中で、出来ている自分に今幸せを感じています。



ブナの木

全国和牛共進会へ出発!!

がんばれ 飯南和牛



十月九日(火)、鳥取県米子市で開催される第九回全国和牛能力共進会の第七区審査に飯南町から出場する三頭の出発式が畜産センターで行われました。また、十二日(金)に行われる、第七区審査当日には議会全議員で激励に行きました。

編集後記

去る九月十二日、安倍首相の辞任表明が突然報道され、我々に大きな不安と動揺を残しました。

このようななか、本町の九月定例議会が開会され、一般質問には六名が立ち、やはり財政問題が大きく取り上げられました。

実質公債費比率二六・九%となり、県下でも目立つ存在となりました。

合併効果は不透明のまま三年が経過し、参議院選挙惨敗で与野党逆転となりました。

これも小泉改革により、都市が田舎を置き去りにしてきたことが大きな要因に思えます。

「農は国の基本」といわれるように原点は地方であり、これからは地域を守るものとして、特色のある地域資源を活かし、ちいさなまちでも、行政と住民みんなでアイデアを出しあいながら活性化に向け努力していきたいと思えます。

議会広報編集委員会